OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	モンゴル国ドルノゴビ県におけるアレバ系コジェ・ゴビ社のウラン鉱毒事件 : 2013年6月15日現在のまとめ
Author(s)	今岡, 良子
Citation	モンゴル研究. 2013, 28, p. 41-54
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102385
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

モンゴル国ドルノゴビ県におけるアレバ系コジェ・ゴビ社のウラン鉱毒事件

－2013年6月15日現在のまとめ－

今岡　良子

はじめに

まず、事件の概要をまとめておこう。

2013年6月、ドルノゴビ県オラン・バドラフ郡とズーン・バヤン区の遊牧民は、「蜂起の準備はもうできている。」[1]と怒りに燃えている。2012年冬から2013年春にかけて、この地域の遊牧民の家畜に異常出産が続いたのである。

ここではアレバ系コジェ・ゴビ社が2010年12月から2011年5月にかけて、ウランを試験採掘していた。

最初に被害を訴えたのは、コジェ・ゴビ社のウラン採掘地から6キロのところで幕営していた牧民ノルスレンである。彼は国から表彰された優秀遊牧民である。昨年12月26日、最初の仔牛が死んだ。

12月28日、核エネルギー庁と自然環境を守る市民監査委員会が現地に入るが、コジェ・ゴビ社が家畜を焼却した。

1月末までにノルスレンの仔牛は22頭死んだ。

3月11日、家畜繁殖研究所は、重金属と放射性物質が原因であると最終調査結果をまとめた。

3月25日付ウネン紙は「ウランの放射能が原因で家畜が死亡。牧民を緊急避難させることに決定」と報道した。

3月26日、自然環境を守る市民監査委員会と反核運動のNGOは、家畜繁殖研究所の報告を記者会見で公表した。しかし、核エネルギー庁は、今も総合的な調査をしている最中であるにもかかわらず、結論が出たかのように公表し、現地では移住を始めた人がいるというのは遺憾だと家畜繁殖所の結論を否定した[2]。

4月11日から14日にかけて、アルタンホイグ首相がドルノゴビ県に滞在し、牧民ノルスレンは直接被害を訴えた。

5月1日、アルタンホイグ首相は、6ヶ月かけて、のべ100人の専門家が参加し、9千万トゥグルクを支出した調査結果を公表した。牧民ノルスレンの前で、仔牛の死亡の原因は、「ウランではない」「伝染病ではない」「銅とセレンとアンチモンが疑わしい」と述べた。

5月13日、ウランバートルを活動拠点とする反核運動の5つのグループが現地調査を行い[3]、記者会見[4]を行った。他の遊牧民にも異常出産が起こっていること、「オラン・バドラフ郡は第二のホンゴ

1 “Малчид: - Амь тэмцэж байна. Бүгдээрээ тэмцэцгээе !!!” 3分以降 https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/yjvdlzozxvme

2 Ураны гамшиг эхэлсэнийг ЦЭГ ойлгоогүй хэвээр... - 2013.03.26 http://www.youtube.com/watch?v=Wd-w9KA8G0M

3 Дорноговь Малчдын бодол санаа 2013.05.13 http://www.youtube.com/watch?v=iHVv1qkuFkc

4 "ТББ-ууд Улаанбадрахад ажиллав" хэвлэлийн хурал 20130513 http://www.youtube.com/watch?v=fadlEeDpvvA&list=UUBvEpwXGFHtYTPOcwoOZkOA

ル[5]になる」こと、「我々は自分たちの手で汚れた大地を清める。汚れた政府も自分たちの手で清める」と述べた。

5月28日、ドルノゴビ県から牧民らがウランバートルに来て、記者会見[6]を開いた。牧民パンサルマーは21戸の家畜の異常出産のリストを読み上げ、「今、二つ頭の仔羊が生まれています。この状態を放置して、私たちから2つ頭の子どもが生まれて、それを見て初めて信用するのですか。それを言うためにここまでやって来たのです」[7]と訴えた。エルデネバットは、コジェ・ゴビ社で働いた若者たちの健康被害を報告し、「ウランはもうやめてほしい」と訴えた。この事件はウランによる鉱毒であると訴え、コジェ・ゴビ社のウラン採掘停止を求める署名1500筆を持参し、政府が対応するまで故郷には帰らないと述べた。

5月31日、牧民ガントゥルは署名をエルベクドルジ大統領に渡した。

6月10日、牧民は銃を手にとり、コジェ・ゴビ社の試験採掘場を封鎖した。

この事件については、すでに新聞やTV局が取材して報道していたが、5月の反核グループやドルノゴビ県遊牧民の記者会見は主要TVのニュース番組も報じた。2つ頭の仔山羊の写真が国民に与えたインパクトは強い。しかし、解決の糸口が見えないまま、エルベクドルジも立候補している大統領選挙のお祭り騒ぎが始まった。対立候補のバットエルデネは、昨年末、2013年度予算案から核関連予算を削除させた3人の国会議員の1人である。モンゴル全国飛び回って精力的に遊説しているが、6月17日現在、この鉱毒事件について発言していない。大統領選挙で国民は忘れそうになっている中で、ドルノゴビ県の牧民は記者会見で「いつでも蜂起できる状態にある」と怒りに燃えていた。そして、銃に弾をこめた。

モンゴルでは家畜の大量死を大量の積雪によるものを「白いゾド」、夏の干ばつによるものを「黒いゾド」と言うが、ウラン鉱毒事件は、「黄色いゾド」と呼ぶことができる。

筆者は、この事件が、モンゴルのウラン鉱山開発が進められるのか、停止するのか、大きな鍵を握り、遊牧の歴史の大きな曲がり角になるものと考えている。本稿は、ネットワークを通じて刻々ともたらされるモンゴルの市民と遊牧民の闘いの情報を、現時点で整理し、記録しようとする試みである。

（1）ドルノゴビ県のウラン鉱山

① オラン・バドラフ郡とズーン・バヤン区

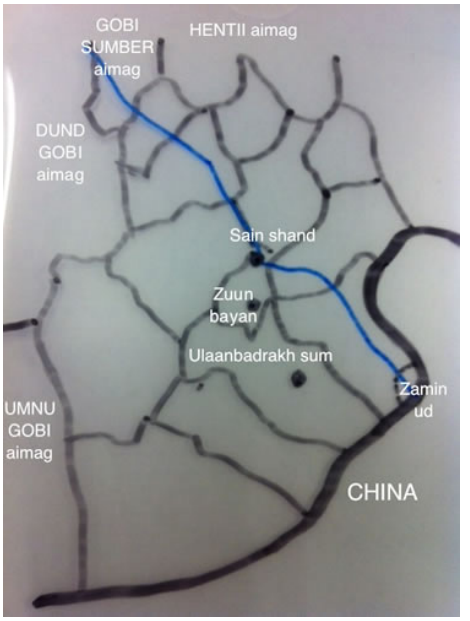
ウランバートルから南東へ、チョイルは経済特区ゴビスンベル県となり、ここを越えたところまで舗装道路が伸びている。ドルノゴビ県はチョイルから中国国境にむかって広がる。県の中心地はサインシャンド。この県都の南部にサインシャンド郡ズーン・バヤン区、その南に接する郡境界から中国国境まで広がっているのがオラン・バドラフ郡である。

5　2007年、ダルハン・オール県ホンゴル郡で、金の抽出に使用するシアンと水銀による汚染事件が起こった。

6　"Улаанбадрахын үнэн байдал" хэвлэлийн хурал 20130528 http://www.youtube.com/watch?v=TlAMD4l2id0&feature=youtu.be

7　"ТББ-ууд Улаанбадрахад ажиллав" хэвлэлийн хурал 20130513　http://www.youtube.com/watch?v=fadlEeDpvvA&list=UUBvEpwXGFHtYTPOcwoOZkOA

図１　ドルノゴビ県オラン・バドラフ郡とズーン・バヤン区



② ドラーン・オール鉱山

このズーン・バヤン区とオラン・バドラフ郡をまたぐように、ウランの鉱山ドラーン・オール鉱山がある。

モンゴルのウランの戦略的鉱山は、ドルノド県のドルノド鉱床、ゴルバンボラク鉱床、マルダイ鉱床の３つである。ソ連が探査、発見し、1980年代には採掘も行なわれた。

このドラーン・オール鉱山は、ソ連時代に発見されていたが、2002年８月からコジェ・ゴビ社が探鉱権を保有し、「2002 年から白亜紀のズーン・バヤンとウネグテ向斜で行われた探査の結果発見され、2004年９月にウラン鉱体が発見された。」[8)]という経緯がある。コジェ・ゴビ社の社長の名前をとって「ミャグマル鉱床」とも呼ばれている。また、土屋は、「本鉱床は地質構造的に上部白亜紀のバヤンシレー 累層群の堆積岩に含まれており、堆積岩の酸性帯の ”roll front“ 形の鉱石化作用に関係する。現在、探査は完了していないため本鉱床のサイズと形は明確になっていない。鉱業権者は 2002年から 2007 年まで計1,008孔のボーリング (164,726m のホーリンク) を行った。ミャグマル鉱床のウラン埋蔵量は現在 10,000t と計算されているが、探査が完了した時点で推定鉱量が明確になる」と報告している[9)]。

8　土屋春秋、「モンゴルのウラン鉱床と開発の現状 」、2008　http://mric.jogmec.go.jp/public/kogyojoho/2008-05/MRv38n1-05.pdf

9　土屋春秋、「モンゴルのウラン鉱床と開発の現状 」、2008　http://mric.jogmec.go.jp/public/kogyojoho/2008-05/MRv38n1-05.pdf

③ コジェ・ゴビ社

1980年代にはソ連とモンゴルが国家事業として、ドルノド県でウラン鉱の採掘が行なわれていた。

市場経済移行後、モンゴル政府は、地下資源開発に国際資本の投資を受け入れるため、2007年に鉱物資源法を施行した。外国企業が地下資源の探査権を取得。「コジェ・ゴビ社は、フランスのアレバ社が70%、モンゴルのゴビ・ゲオ社が30%出資した合弁会社で、ドルノゴビ県のタムサグ、サインシャンド、ズーンバヤンで探査を行なった。しかし、1999～2003年まで世界のウラン価格が大幅に下落したため、ウラン探査活動が停滞していた。」[10)]　2010年12月から2011年５月にかけて、イン・シチュ・リーチング法というウランを化学物質の入った水溶液で溶かして吸い上げる方式で試験採掘を行い、2700トンのイエローケーキを生産した[11)]、と言われている。

2013年度予算案にはアルタンホイグ首相直轄の予算として「第６プログラム　放射性鉱物資源と核エネルギー」という項目があり、ドラーン・オール鉱山のウラン採掘工場建設について特記された。３人の国会議員の奮闘により、第６プログラムは削除されたが、アルタンホイグ政府が重点的に開発しようとしている鉱山で鉱毒事件が起こったのである。

（2）牧民ノルスレンの仔牛の死亡について

① 牧民ノルスレン

オラン・バドラフ郡生まれ。４年生まで学校で勉強し、その後、1977年から家畜を飼ってきた。国から表彰された優秀遊牧民である。

写真１　最初に被害を訴えた牧民ノルスレン

1994、95年頃からズーン・バヤン区に移住し、そこで幕営しているが、コジェ・ゴビ社から６キロしか離れていない。ウランを採掘した残土には、塀が巡らされておらず、家畜が自由に近づくことができた[12)]。

去年は草もよく、ゾドの心配のない冬であったが、12月20日からから仔牛が放牧地で死に始めた。

10　http://www.jaif.or.jp/ja/asia/mongol/mongol_data.pdf#search=' 原産協会 + モンゴル '

11　Улаанбадрахынхан дээр туршилт хийсээр байх гэж үү? http://golomt.org/2013/06/06/5365/

12　Дорноговь. малчин Норсүрэнгийн яриа -2013.05.08 https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/2013-05-08

死んだ家畜の内蔵は、肺や胃、肝臓に腫れ物ができたり、黒い斑点ができたりした。

写真２　死んで運ばれる仔牛

出所：Anti Nuclear Movement Mongolia Page　https://www.facebook.com/photo.php?fbid=668061773208244&set=pb.263100847037674.-2207520000.1370782819.&type=3&theater

写真３　牧民が屠殺し、異常が見受けられた内蔵の写真

出所：https://www.facebook.com/photo.php?fbid=668061536541601&set=pb.263100847037674.-2207520000.1370782820.&type=3&theater

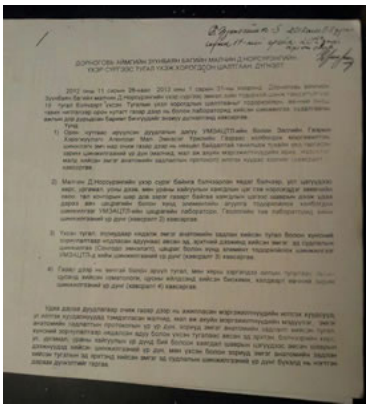
12月28日、核エネルギー庁と市民を代表して「自然環境を守る市民監査委員会」の委員長のJ.ガンバータルらが現地調査に入った。その時、すでにコジェ・ゴビ社は、囲いを作り、死んだ仔牛を焼却していた。

②　家畜衛生研究所の結論

家畜衛生研究所は、ノルスレンの牛が放牧される牧地や水場から土、植物、水のサンプルを採取、

また、ウラン探査による廃棄物置き場となっているズーブチ・オボー、マル・ホンゴル・シャル・ドブの残土からもサンプルを採取した。放射性物質や重金属を特定する検査を家畜衛生研究所、放射性物質実験所、地質学研究センターなどで行なった。また、死んだ仔牛を解剖し、その臓器について精密検査を行なった。この結果、重金属と放射性物質が原因であるという結論を３月18日に公表した[13)]。その場には、ノルスレンはもちろん、ズーン・バヤンのバク長エルデネチメグ、オラン・バドラフ郡長ガンゾリグらも参加した。

写真４　家畜繁殖研究所の報告書の写真



出所：Anti Nuclear Movement Mongolia Pagehttps://www.facebook.com/photo.php?fbid=649508351730253&set=pb.263100847037674.-2207520000.1370783250.&type=3&theater

この結果を受けて、３月25日付　ウネン紙には「ウランの放射能が原因で家畜が死亡。牧民を緊急避難させることに決定」という記事が掲載された。

写真５「ウネン紙」「ウランの放射能が原因で家畜が死亡。牧民を緊急避難させることに決定」

出所：Anti Nuclear Movement Mongolia Page　https://www.facebook.com/photo.php?fbid=639398576074564&set=pb.263100847037674.-2207520000.1370783472.&type=3&theater

13　Мал эмнэлэг үржлийн газрын шинжилгээний дүн. http://golomt.org/2013/04/15/malemn/

３月26日、自然環境を守る市民監査委員会と反核運動のNGOは、家畜繁殖研究所の報告を記者会見で公表した。

これに対し、核エネルギー庁は、家畜繁殖研究所の報告を、総合調査の最終結論であるかのように公表し、移住を始めた住民もいることを批判した。

③ アルタンホイグ首相と牧民ノルスレン

５月12日、アルタンホイグ首相は、ドルノゴビ県サインシャンド市で定例の政策対話集会を開いた。牧民ノルスレンが、家畜の被害はコジェ・ゴビ社のウラン鉱毒が原因であると訴えた。若い牧民は、ズーン・バヤン区では冬に14頭の母牛が死んだが、原因不明である。エネルギー庁はウランが原因ではないことだけ言い、原因がわからない。ウランの採掘に関して政府の見解を問いただした[14)]。

アルタンホイグ首相は、「モンゴルには原子力発電所はいらない。何が必要かというと、ウランを原料のまま、きれいなまま地中から取り出す。これを（「加工したもの」訳者付加）shar nuntag（イエローケーキ）と言います。このレベルの生産は、政府のプログラムとして持っています。しかし、地元の住民が支持しないまま、理解しないまま、こんな事業はしません」「すでに政府から調査班を送りましたが、市民も参加して調査を行い、これは有害、これは有害でないということを（「はっきりさせ」訳者付加）お互いに理解しないまま、強引にことをすすめる政府ではありません」と述べた。

④ 核エネルギー庁が統括する総合調査の結論

５月１日、アルタンホイグ首相は調査結果を発表した。６ヶ月間、のべ100人の研究者が参加し、９千万トゥグルクを投じた大規模な調査となった。

「放射性物質は仔牛が死んだ原因ではない」「伝染病が原因ではない」「放牧地の水と土は通常の水準にある」しかし、「仔牛の死亡はセレンや銅、アンチモンの疑いがある。」という結論である[15)]。

これで家畜衛生研究所の結論を全面的に否定したことになる。「銅とはどういうことだ？」と納得しないノルスレンに対して、アルタンホイグ首相は、国際的な研究協力をえて、調査を継続することで幕を下ろした。

この翌日、モンゴル民主党は大統領候補としてエルベクドルジを推薦することを明らかにした。

（3）ウランバートルの反核団体のドルノゴビ県の調査について

① ウランバートルの反核団体

民主党政府の調査結果に納得しないウランバートルの反核団体は、ドルノゴビ県でフィールドワークを行なった。参加したのは、Golomt Tsumin Esreg Khudulguun、Gal Undesten Kholboo、Mongol ulsin Tuluu Zutgee、Oficialuud Kholboo、Khubiaraa Teewer Erkhlegchidiin Kholboo である。

ゴロムト反核運動は、政党とはかかわりをもたない反核グループで、アメリカ政府がモンゴルに核廃棄物を捨てる計画をもっていることを毎日新聞よりも先にモンゴルに伝えたことで知られるようになった。

ガル・ウンデステン連盟は、金鉱山開発からモンゴルの自然と遊牧の暮らしを守る法を制定させるなど、地元の遊牧民とともに自然保護運動を展開する組織である。

14　MNCTV Дорноговь аймагт уран олборлосны улмаас мал үхжээ http://www.youtube.com/watch?v=lWaZwKtUTXQ

15　EC Н.Алтанхуяг мэлзэв -2013.05.01 https://www.youtube.com/watch?v=f2g280PEfPA

② 記者会見でのバータルホイグの報告

５つの反核団体は５月７日から一週間ドルノゴビの現状を調査し[16]、ウランバートルで記者会見した[17]。ガル・ウンデステンの代表バータルホイグは、「被害はノルスレン家だけではなく、700頭の家畜が不自然な死に方をしていた」と報告した。

写真６　記者会見をする５つの NGO

出所：Anti Nuclear Movement Mongolia Page　https://www.facebook.com/photo.php?fbid=665182543496167&set=pb.263100847037674.-2207520000.1370782820.&type=3&theater

写真７　インタビューを受けるバータルホイグ

出所："ТББ-ууд Улаанбадрахад ажиллав" хэвлэлийн хурал 20130513　https://www.facebook.com/photo.php?fbid=267416473402174&set=a.267416413402180.1073741841.100004014696959&type=3&theater

16　http://www.youtube.com/watch?v=bO_7NKNJKgY&feature=youtu.be

17　http://www.youtube.com/watch?v=fadlEeDpvvA&list=UUBvEpwXGFHtYTPOcwoOZkOA

特に、アルガラントバク第３バクでは

- ダシジャムツ家：足の立たない仔らくだが生まれ、３日で死亡。死ぬ前に毛が大量に抜けた。
- バットゾリグ家：この25日間で３頭の大家畜が理由もなく死亡。
- オユンエルデネ家：口が割れ、歯のない、目の見えない仔らくだが産まれた。
- バットトゥムル家:目が見えず、首のない仔らくだが生まれた。お腹がはれた仔山羊と仔羊が死亡。
- プレブツェンド家：７頭の大家畜を解体したら、３頭が肺の肥大。褐色の斑点があった。肝臓には白いものがついていた。

（4）5月28日、ドルノゴビ県牧民の記者会見について

写真８　記者会見を開くドルノゴビ県の牧民たち

出所：Улаанбадрахын үнэн байдал 20130528 https://www.facebook.com/photo.php?fbid=274906512653170&set=a.274906239319864.1073741843.100004014696959&type=3&theater

① オラン・バドラフ郡第３区の牧民パンサルマーの訴え [18)]

2011年春から、４つのバク、119戸で異常な仔畜が生まれた。コジェ・ゴビ社は2010年12月から2011年５月にかけてウランを採掘した。ノルスレンさんの仔牛が死んだ理由について、政府はウランが原因ではない、と結論づけたけれども、私たちは100％ウランのせいだと思っている。

どういう被害があったかというと、21戸で異常出産後、仔畜が死亡した。

目のない仔山羊・仔らくだ、１つ目の仔馬、唇のない仔山羊、あごのない仔馬、首のない仔山羊、頭のない仔羊、２つ頭の仔羊、仔馬、四角い頭の仔羊、３本足の仔牛、仔山羊、前足のない仔山羊、前足が立たない仔羊、寝たままの仔らくだ、２つ頭の仔羊、仔馬、四角い頭の仔羊、３本足の仔牛、仔山羊、前足のない仔山羊、前足が立たない仔羊、寝たままの仔らくだ。

18　http://www.youtube.com/watch?v=TlAMD4l2id0&feature=youtu.be

写真９　目の見えない仔らくだ

出所：https://www.facebook.com/photo.php?fbid=522228194503380&set=a.522219607837572.1073741825.139421219450748&type=3&theater

頭が２つあるの仔羊

出所：https://www.facebook.com/photo.php?fbid=522228597836673&set=a.522219607837572.1073741825.139421219450748&type=3&theater

病気の家畜もいる。オユエルデネ家では４頭のらくだが前足が動かない。ダシジャムツ家、アリオンボルド家では片目の仔馬が生まれた。バルジンドルジ家、ダシジャムツ家ではらくだが一頭ずつ病気。大家畜に換算すると、あわせて11頭、病気である。

すでに２つ頭の仔羊が生まれた。この問題を解決してくれないで、２つ頭の子どもが私たちの中から生まれ、それを見て、初めて、私たちの言うことを信用するのか。それまで政府は放っておくのか？

家畜だけではなく、人間にも影響が出ている。こども達は風邪をひくと２、３ヶ月ひいたまま、母

らくだの乳製品を食べて育った子どもの体調が悪い。

② オラン・バドラフ郡エルデネバットの訴え

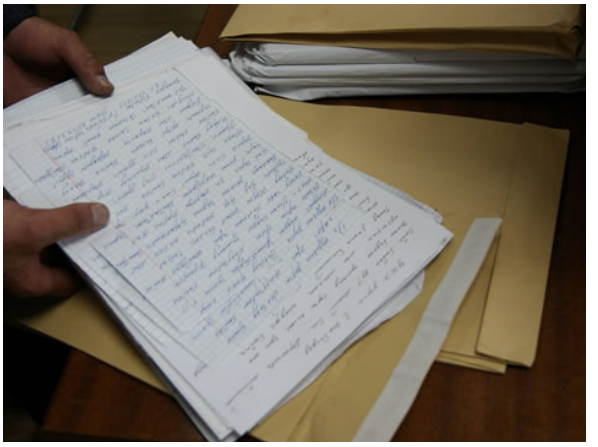
私たちの故郷でウランが出たこと、大変残念です。世界中がウランから遠ざかっていっているのに、モンゴルでは使おうとするので、その反対のために闘わないといけないとは、本来不必要なことをしていると思います。

若い女性たち、特に妊娠している女性はお互いに私はどんな子どもを産むのか？心配しています。夫はコジェ・ゴビ社で働いた。コジェ・ゴビ社が操業した２、３年の間、そこで働いた若い人たちはたくさんいます。最初は、ウランは有害じゃないと言って、若者を働かせました。最近は、「やせた」、「毛が抜けた」、「目が赤い」、「皮膚がかゆく夜眠れない」と訴えています。牧民の家で家畜を屠殺したら、すべての家畜が同じ状態。肺にできものができ、血の塊のような斑点があり、肺に水がたまったように肥大しています。だから、ウランはやめてください、と政府のみなさんにお願いします。ちゃんとしてくれないのでしたら、私たちは闘うしかないことを宣言します。

③　オラン・バドラフ郡牧民ガントゥルの署名行動

牧民ガントゥルは、319戸、1500筆の署名を持参し、「ウランの試験採掘停止」を求めた。

写真10　ドルノゴビ県の牧民ガントゥルが持参した1500筆の署名



出所：Улаанбадрахын үнэн байдал 20130528　https://www.facebook.com/photo.php?fbid=274906689319819&set=a.274906239319864.1073741843.100004014696959&type=3&theater

６月２日、エルベクドルジ大統領に署名を提出した[19]。ガントゥルは政府から回答があるまで、故郷に帰らないつもりである、とインタビューに答えた。

19　Малчин Д. Гантөр: Ерөнхийлөгчид 1500 хүний гарын үсэгтэй өргөх бичиг өгсөн　http://www.aravt.mn/content/2994/.htm

写真11　3月11日、ウランバートルで開かれた福島を忘れないデモに参加したドルノゴビ県の牧民

出所："Fukushima 311" demonstration, Ulaanbaatar, Mongolia　https://www.facebook.com/photo.php?fbid=231346003675888&set=pb.100004014696959.-2207520000.1370785630.&type=3&theater

ドルノゴビ県の牧民は、3月11日のデモに参加した時、「私たちは、核よりも、健やかな未来が大事」と訴えた。彼らの思いがこの言葉にこめられている。

④ 家畜繁殖研究所 S. ツェレンチミドが「鉱山の影響である」と証言

家畜繁殖研究所の S. ツェレンチミドと牧民ガントゥルがニュース番組に出演し、ツェレンチミドは、鉱山の影響があると述べた。

（5）牧民闘争の宣言

① ガル・ウンデステン連盟の牧民 Ts. ムンフバヤルの声明

Ts. ムンフバヤルはオンギ川を金鉱山開発から守る運動で活躍した自然保護運動家の牧民である。彼の活動の成果は「河川の水源となる地域と原生林を有する土地では地下資源を探査し、利用する行為を禁止する法律」を制定させたことである。記者会見で、ムンフバヤルは、民主党政府に対し、ナーダムの前、つまり2ヶ月以内に、この法律に従って、企業に対し、行政執行しなければ、権力者はこれまで経験したことのない被害を被ることになる、と意見表明をした。特に、物理的な自然破壊だけでなく、化学物質による汚染により、家畜も遊牧民も暮らせない状況になっていることを厳しく批判した。[20)]

② 住民は、採掘再開反対に立ち上がった

6月10日付けの「ウネン」紙は、「オラン・バドラフの住民は、銃に弾をこめて、故郷を守る」という見出しの記事を掲載した。それによると、現在、コジェ・ゴビ社は、採掘用の井戸堀りも、ウラン

20　Ц.Мөнхбаяр: Урт нэрт хуулийг хэрэгжүүлэхгүй бол дахин тэмцэл хийнэ　http://www.medee.mn/main.php?eid=31399

の試験採掘も行っていないが、住民は交代して見張りを続けている。住民たちは、「政府がコジェ・ゴビ社に許可を与えても、ウラン採掘の操業をさせないために闘い、故郷と命を守る」[21)]と述べている。

おわりに

家畜繁殖研究所が出した結論を否定し、核エネルギー庁が統括した結論を認めた民主党政府は、仔牛死亡の原因は不明なまま、国際的な研究協力に問題を投げ、幕をひいた。牧民は避難の権利を認められず、保障もされず、原因不明のまま放置されている。私には、ゴビの遊牧民にフクシマ市民の姿が重なって見えた。

参考文献リスト

原産協会、「モンゴルの原子力発電導入準備とウラン鉱業」、2011年　http://www.jaif.or.jp/ja/asia/mongol/mongol_data.pdf#search='原産協会+モンゴル'

土屋春明、「モンゴルのウラン鉱床と開発の現状」JOGMEC,2008　http://mric.jogmec.go.jp/public/kogyojoho/2008-05/MRv38n1-05.pdf

ノルスレンの家畜の死亡に関して

Дорноговь аймаг Улаанбадрах сумын нутаг дэвсгэрт ураны Коже говь уурхай дээр малчин Норсүрэн гуайн үхэр үхсэн тухай малчны яриа 2012.12.28　https://www.facebook.com/photo.php?v=627315703950216&set=vb.100000153764018&type=2&theater

“Uranii haiguulaas bolj mal olnoor uhej bn” hural – 2013.01.04　http://www.youtube.com/watch?v=qpya0ij-PGQ&feature=youtu.be

“Кожеговь”-ийг өмөөрч болно, Гэхдээ… 2013.03.20　http://www.mass.mn/48300.html

Ураны цацрагаас мал хордсон нь тогтоогдож, малчдыг яаралтай нүүлгэх шийдвэр гарчээ.　http://golomt.org/2013/03/25/malhordo/

Ураны гамшиг эхэлсэнийг ЦЭГ ойлгоогүй хэвээр... 2013.03.26　http://www.youtube.com/watch?v=Wd-w9KA8G0M

Уранаас болж мал үхсэнийг шат шатандаа хүлээн зөвшөөрчихсөн юм биш үү　http://mongoliinmedee.essay.time.mn/content/4445.shtml

Дорноговь аймгийн малчин Д.Норсүрэн: “Кожеговь”-ийн даргатай хамт үхсэн тугалнуудыг цуглуулж, хогийн цэг рүү хийж булсан 2013.04.03　http://niigem.zaluu.com/index_med.php?id=294

“Ичгүүргүй нүд” Монголыг онилжээ 2013.04.04　http://niigem.zaluu.com/index_med.php?id=308

Мал эмнэлэг үржлийн газрын шинжилгээний дүн. http://golomt.org/2013/04/15/malemn/

アルタンホイグ首相の調査結果報告　https://www.youtube.com/watch?v=f2g280PEfPA

Дорноговь. малчин Норсүрэнгийн яриа -2013.05.08　https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/2013-05-08

MNCTV Дорноговь аймагт уран олборлосны улмаас мал үхжээ　hhttp://www.youtube.com/watch?v=lWaZwKtUTXQ 2013.05.12.

Дорноговь Малчдын бодол санаа 2013.05.13　http://www.youtube.com/watch?v=iHVv1qkuFkc

Дорноговь Малчдын бодол санаа 2013.05.13　http://www.youtube.com/watch?v=bO_7NKNJKgY&feature=youtu.be

"ТББ-ууд Улаанбадрахад ажиллав" хэвлэлийн хурал 2013.05.13　http://www.youtube.com/watch?v=fadlEeDpvvA&list

21 「ウネン」紙　2013年6月10日　http://www.unen.mn/content/23836.shtml

=UUBvEpwXGFHtYTPOcwoOZkOA

Sainted TV medee 0116 https://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=kPgA-YdPi_0

Дорноговь аймгийн Зүүнбаян сумын малчин Д.Норсүрэнгийн малын үхэл 2013.05.19　https://www.facebook.com/media/set/?set=a.668061373208284.1073741831.263100847037674&type=1

Улаанбадрахынхан дээр туршилт хийсээр байх гэж үү?　http://golomt.org/2013/06/06/5365/

５つの NGO による記者会見 2013.05.13

http://www.youtube.com/watch?v=ogh9TM1JZUc&feature=endscreen

http://www.youtube.com/watch?v=fadlEeDpvvA&list=UUBvEpwXGFHtYTPOcwoOZkOA

５月28日、牧民たちがウランバートルで記者会見

https://www.facebook.com/groups/StopNuclearGenocide/

ドルノゴビ県の遊牧民が持参した異常出産の写真

https://www.facebook.com/munkhbayar68/media_set?set=a.274906239319864.1073741843.100004014696959&type=1

５つの NGO がドルノゴビ県で行なった聞き取り調査の記録音声

“Малчид: - Амь тэмцэж байна. Бүгдээрээ тэмцэцгээе !!!” https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/yjvdlzozxvme

Дашдондов -Бүх малын нүд, элэг уушиг, хөл их өвдөж байна　https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/okfi2cziob6f

малчин Энхбаатар - Дулаан уулыг тойрсон гамшигийг зогсооё　https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/rxfguzplyxyc

Кожеговь ХХК-д ажиллаад арьс нь шархалж, үс нь халцаржээ　https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/vem690baenht

Дорноговь. малчин Норсүрэнгийн яриа -2013.05.08　https://soundcloud.com/minjuur-tudevjaviin/2013-05-08

Малчин Норсүрэн: Шинжээчид багаж эвдэрхий гэсэн шалтгаанаар цацрагийн хэмжилт хийгээгүй.　https://soundcloud.com/migaa-mogod/norsuren-1

Улаанбадрахын иргэн Т.Төрмөнх: Биднийг золиосонд нь хаях юм уу? Аврах юм уу? Төр засаг л мэдэх байх.　https://soundcloud.com/migaa-mogod/avmomj6kcttt

（いまおか　りょうこ）